取扱説明書

05002A

OPTICAM SCコネクタ 900μmブーツ

Part Numbers: FSCSCBU, FSCMCXAQ, FSCDMCXAQ, FSCMC5BL, FSCDMC5BL, FSCMC6BL, FSCDMC6BL

©Panduit Corporation Japan Branch

構成部品一覧

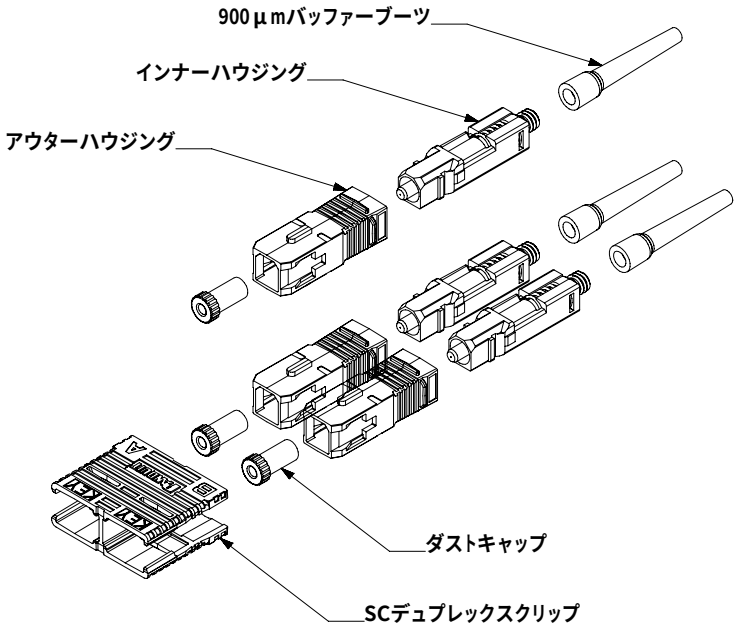
コネクタ アセンブリ

シンプレックス

- **FSCSCBU**
- **FSCMCXAQ**
- **FSCMC5BL**
- **FSCMC6BL**

デュプレックス

- **FSCDMCXAQ**
- **FSCDMC5BL**
- **FSCDMC6BL**



コネクタ	アウター ハウジング	バックボーン	ブーツ
10*GIG* 50μm	黒	水色	水色
50μm	黒	黒	黒
62.5μm	アイボリー	アイボリー	黒
Singlemode	青	黒	青

コネクタ取り付けのための必要工具一覧

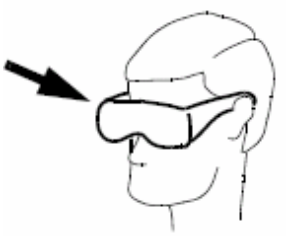
	部品番号	明細	FPPKIT 同梱	FPPTTKIT 同梱	単品購入 可否
1	OCTT	OPTICAM工具(VFL機能内蔵)	○	○	○
2	FSCC	SCクレードル (OCTTに添付)	○	○	○
3	FVFLPC-2.5SM	OPTICAM 2.5mmフェルールFVFLパッチコード	○	○	○
4	CST-115	ケーブル外被覆ストリッパー	○		○
5	FALC	アルコールボトル	○		○
6	FBFSP	バッファーストリッパー	○		○
7	FJQCVR	ファイバーカッター	○	○	○
8	FGLS	安全眼鏡	○		○
9	FKS	アラミド繊維用はさみ	○		○
10	FST	ファイバー処理テープ	○		○
11	FSWB-C	クリーニング綿棒	○		○
12	FWP-C	クロスワイプ	○		○
13	PFX-0	マーカーペン	○		○
14	-	90vol%以上含有のイソプロピルアルコール (別途、用意する必要があります)			○
15	PN374	SC OPTICAM用ストリッピングテンプレート	○	○	○
16	FJQCVRB	FJQCVR用替刃			○

OPTICAM SCコネクタ 900μmブーツ

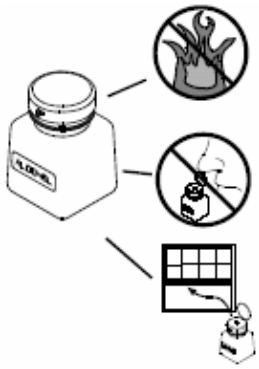
Part Numbers: FSCSCBU, FSCMCXAQ, FSCDMCXAQ, FSCMC5BL, FSCDMC5BL, FSCMC6BL, FSCDMC6BL

©Panduit Corporation Japan Branch

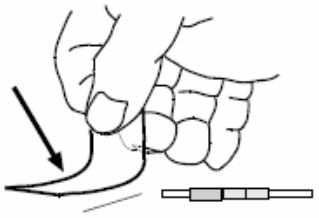
使用上の注意事項



1. 安全眼鏡: 光ファイバーは非常に鋭く、目を破損する場合があります。光ファイバーを扱う際は、安全眼鏡を着用して作業を行ってください。
2. イソプロピル アルコール: イソプロピル アルコールは可燃性です。アルコールが目に入った場合は、少なくても 15 分間、水で洗い流してください。また、アルコールを扱う際は十分な換気を行い、万が一飲み込んだ際は、医師の診断を受けてください。



3. 光ファイバー心線の処理方法: 光ファイバー心線は、無色透明で見分けがつきにくく、誤って体内に混入した場合は、人体に悪影響を及ぼします。光ファイバー心線は必ずビニールテープなどで覆い、処分してください。
4. レーザー光線からの防御: レーザー光線は誤った使用を行うと、放射線被爆をもたらす可能性もあります。レーザー光線の放射は、CLASS IIにおいて1mW以上、CLASS IIIにおいて 5mW 以下となるため、下記の項目について注意してください。



・ レーザーを他のものに向けないでください。
・ レーザー光源を直接凝視しないでください。
・ レーザー光源を鏡面などの反射物を利用して凝視しないでください。

使用しない場合は、必ずレーザーのスイッチを切ってください。また、長期間使用しない場合は、バッテリーと光源装置を保護するため、バッテリーを取り外してください。

VFL(可視光源)や他のレーザー光線が接続されている光ファイバーの終端を凝視しないでください。

VFL を電子機器やマイクロスコープに接続しないでください。VFL を使用する際は、電子機器や他の装置が接続されていないことを事前に確認してください。

5. ケーブルの取り扱い: 光ファイバー ケーブルは、過度のストレス、曲げ、張力などによって、破損する場合があります。ケーブル製造会社の仕様書や取扱説明書に従い作業を行ってください。

OPTICAM SCコネクタ 900μmブーツ

Part Numbers: FSCSCBU, FSCMCXAQ, FSCDMCXAQ, FSCMC5BL, FSCDMC5BL, FSCMC6BL, FSCDMC6BL

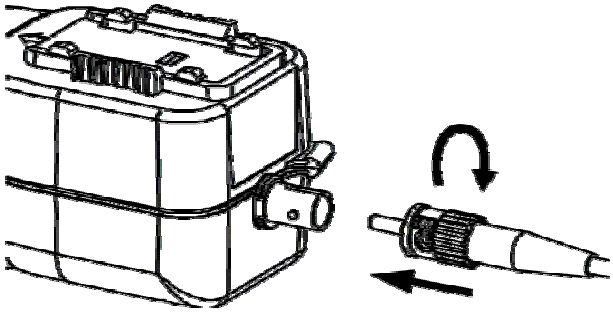
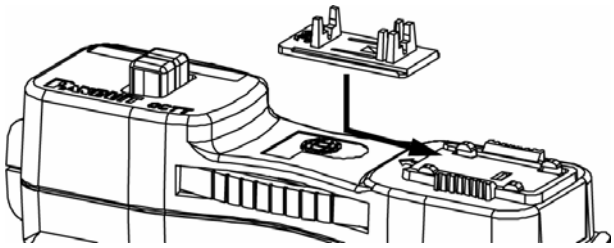
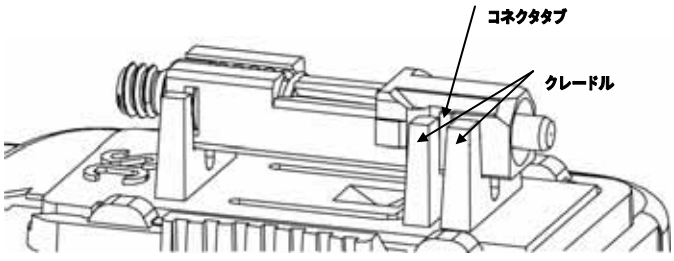
©Panduit Corporation Japan Branch

OPTICAM パッチコード 保守管理

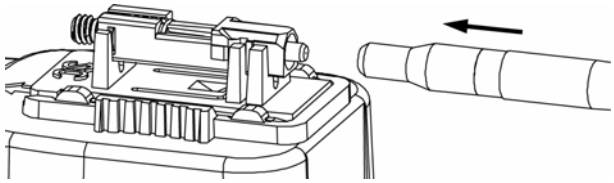
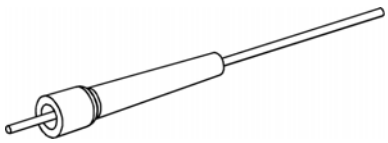
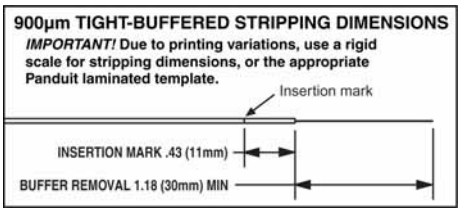
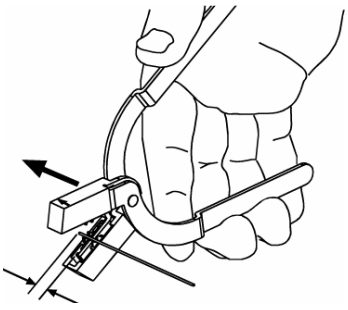
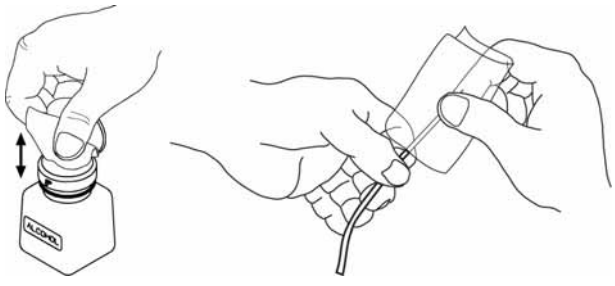
FVFLPC-2.5SM コードは、少なくても 50 回の脱着毎、もしくは性能が減少した場合、両端の清掃を行ってください。

1. 含有率 90%以上のイソプロピル アルコールに浸したリントフリー ワイプ(FWP-C)を使用し、ST コネクタのフェルールを清掃してください。
2. OCTT の底面にある 4 箇所のネジを外し、スプリット スリーブを取り外します。アルコールで浸したリントフリー ワイプを利用してフェルールの端面を清掃します。さらにアルコールで浸した綿棒(FSWB-C)を利用してスリーブを清掃します。その後、スリーブを取り付け、ネジをしっかりと取り付けます。
   補足: FVFLPC-2.5SM を 3 回清掃しても性能が減少したままの場合、FVFLPC-2.5SM に同梱されている予備のスリーブを用い、交換してください。

900μm タイトバッファー ファイバー 施工方法

1. OCTTにパッチコードを取り付ける レーザースイッチが“O”(オフ)にあることを確認し、FVFLPC-2.5SM コードの ST コネクタにある保護キャップを取り外し、OCTT ツールの ST アダプタに取り付け、コネクタを右回りに回転させ固定します。	
2. コネクタ クレードルを取り付ける SC コネクタクレードルを図のように OCTT クレードル ホルダにスライドさせ取り付けます。クレードルホルダは、あらかじめ事前成端位置(図の右側方向)にスライドさせ移動しておきます。	
3. クレードルへコネクタを取り付ける コネクタのダストキャップとエンドキャップを取り外し、インナー ハウジングを SC コネクタ クレードルに取り付けます。図のようにコネクタをコネクタタブとクレードルの溝に合わせて取り付けます。	

©Panduit Corporation Japan Branch

4. <u>パッチコードをコネクタ フェルールに取り付ける</u> FVFLPC-2.5SM コードのフェルール アダプタをコネクタ フェルールに取り付けます。	
5. <u>900μm タイトバッファーを裂く</u> あらかじめ900μm用バッファー ブーツを図のようにファイバーに取り付けます。その後、PN374 テンプレートを用い、バッファーを裂くポイント[30mm]と、挿入ポイント[11mm]の 2 箇所に PFX-0 マークペンで印をします。30mm の印まで FBFSP バッファー ストリッパーを用い、バッファーを裂きます。 FBFSP 使用方法 ・ 使用する前にバッファー層を取り除きます。 ・ ケーブルを図のように“V”溝に合わせ、矢印の方向に裂きます。 ・ ファイバーが折れないよう、1 回の作業で 6mm 程度裂くようにします。 ・ 使用後はバッファー層を取り除き、保管します。	  
6. <u>ファイバーをカットする</u> ファイバー心線をアルコールに浸したリントフリー ワイプを用いて清掃します。清掃後は、ファイバーにホコリなどが付着しないよう注意してください。FJQCVR クリーバを用い、バッファーの裂き端を 7mm[±0.5mm]の目盛りに合わせてファイバーをカットします。カットした後、ファイバー	

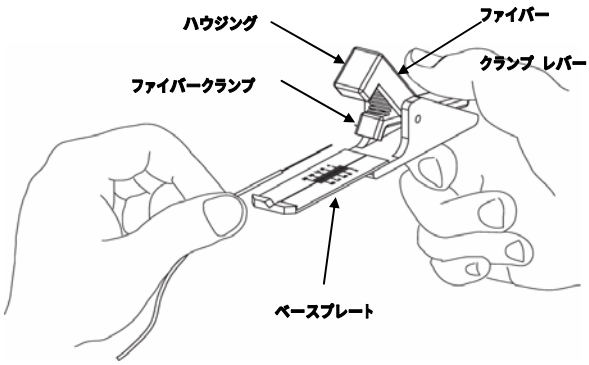
©Panduit Corporation Japan Branch

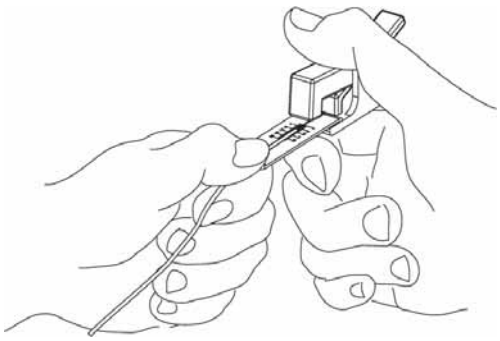
はアルコールなどで清掃しないでください。

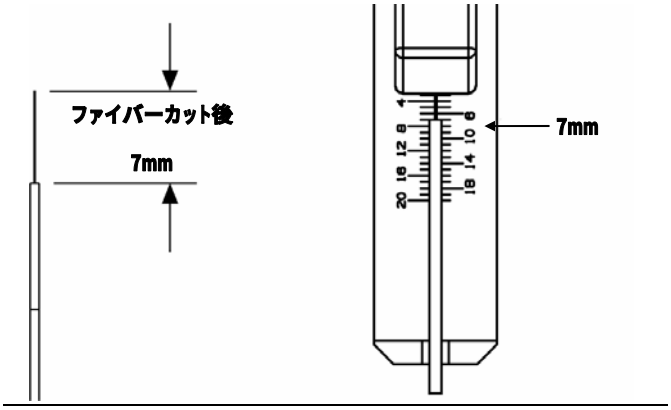
FJQCVR 使用方法

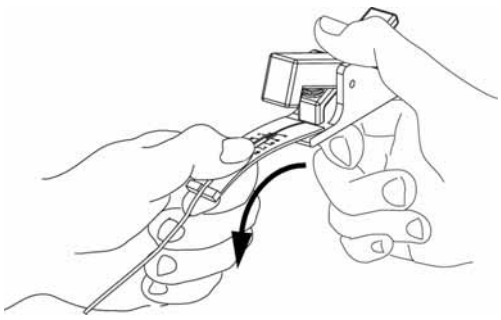
- ファイバー クランプ レバーを押してベース プレートの V 溝に沿ってファイバー心線をセットします。その後、ファイバークランプ レバーを離し、ファイバー心線をファイバー クランプにて固定します。
- 図のように片手でファイバーを保持しながら、もう片方の手でハウジングを、先端のセラミック刃がベースプレートに接触するまで押し込み、その後ゆっくりと離します。
- ファイバーを保持したまま、図のようにベースプレートをゆっくりと曲げ心線をカットします。

セラミック刃の交換目安は 1000 回です。交換刃(FJQCVRB)を用いて交換してください。



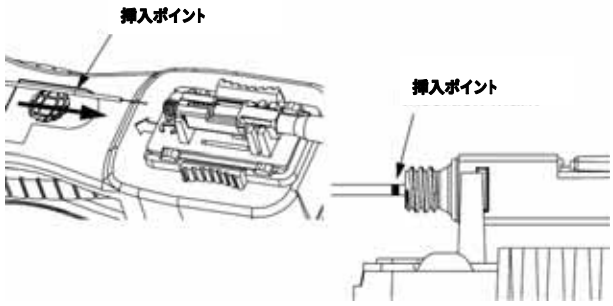






7. ファイバーの挿入

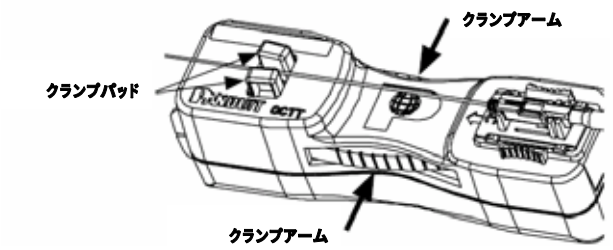
ファイバー ケーブルに印した挿入ポイントの後方を持ち、真っ直ぐにゆっくりとコネクタに挿入します。正しく挿入されていれば、コネクタの終端と挿入ポイントが同位置となります。



©Panduit Corporation Japan Branch

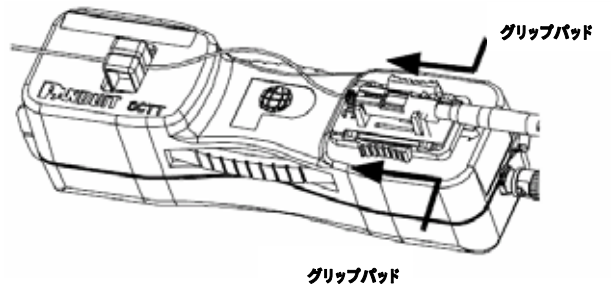
8. ケーブルの固定

クランプ アームを握り、クランプ パッドを開放します。その後、クランプ アームを離し、ファイバーが真っ直ぐになるように固定します。固定した後、挿入ポイントが移動していないことを確認します。



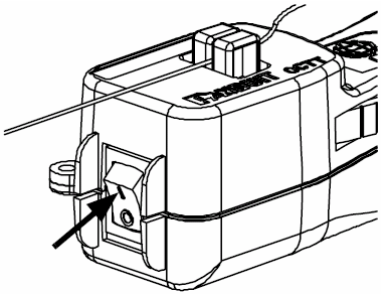
9. クレードル ホルダを移動させる

クレードル ホルダを図のようにスライドし、ファイバーをたわませます。



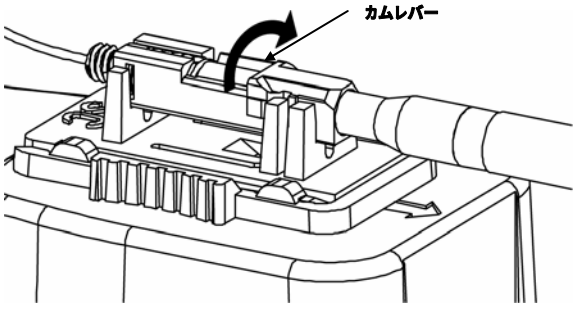
10. レーザーのスイッチを入れる

OCTT ツールのスイッチを“I”(オン)にする。挿入したファイバーが正しい位置にセットされていれば、コネクタ部が僅かに赤く光ります。通常、シングルモード ファイバーは、マルチモード ファイバーと比較すると明るく光ります。



11. カムレバーの移動

コネクタのカムレバーを 90 度回転させます。コネクタ内の光は、殆ど変化がない、もしくは減少します。
もし、光が明るくなるようであればレーザーのスイッチを切り、手順 7 よりやり直してください。それでも改善しない場合は、手順 5 よりやり直してください。



12. レーザーのスイッチを切る

OCTT ツールのスイッチを“O”(オフ)にします。FVFLPC-2.5SM コードのフェルール アダプタをコネクタから取り外します。

©Panduit Corporation Japan Branch

13. ケーブルの解除

クランプ アームを握り、クランプ パッドからファイバー ケーブルを取り外します。

コネクタは、クレードルに取り付けられたままですので、過度に引っ張ることのないよう注意してください。

14. コネクタの取り外し

コネクタをクレードルから取り外します。

15. クレードル ホルダを戻す

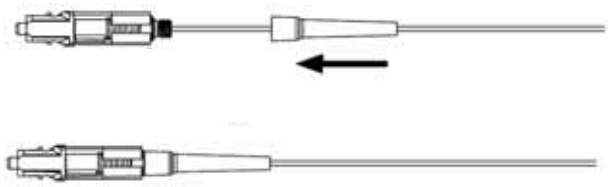
手順 9 で行ったクレードル ホルダを元の位置に戻します。

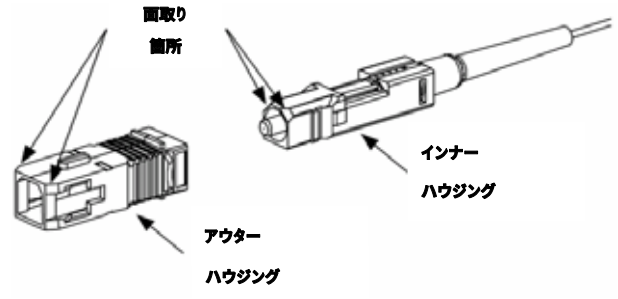
16. ファイバー屑の除去

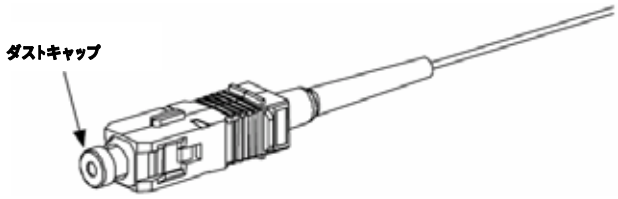
手順 6 で行ったクリーバに残されたファイバー屑を取り除きます。ファイバー屑は適切に処理してください。

17. ブーツとコネクタの取り付け

図のようにブーツをコネクタに取り付けます。その後、インナー ハウジングとアウター ハウジングを図のように取り付けます。両ハウジング共、2 箇所に面取りがされており、その向きを合わせて取り付けます。コネクタ先端のフェルールをアルコールで浸したワイプで清掃し、その後ドライワイプで拭き取り、最後にダストキャップを取り付けます。

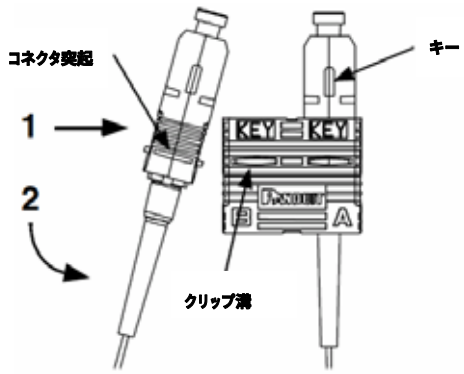




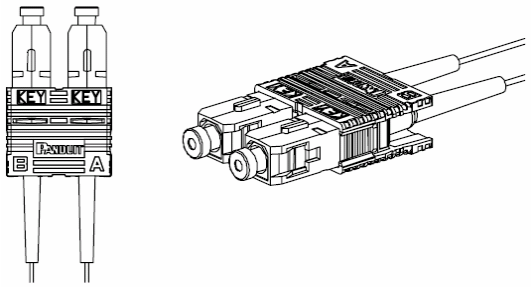


18. デュプレックス クリップの取り付け
(該当コネクタのみ)

コネクタの突起とデュプレックス クリップの溝を合わせて図のように取り付けます。もう一方のコネクタも、同様に取り付けます。



©Panduit Corporation Japan Branch



19. 再施工

コネクタは、再施工可能です。ダストキャップが取り付けられていることを確認し、アウター ハウジングを持ち、図のように押し下げアウター ハウジングをインナー ハウジングから取り外します。その後、ブーツをスライドさせコネクタから取り外します。最後にカムレバーを戻し、ファイバー心線を取り除きます。再施工するには手順 1 よりやり直してください。

ダストキャップが取り付けられていない状態で作業を行うと、研磨済みファイバーの端面に傷がついてしまいますので必ず、ダストキャップを取り付けた状態で作業を行ってください。